

2006年(平成18年)10月31日(火曜日)

異文化との通わせ

つくば通信

(16)

村田 佳子



今月、ノーベル平和賞、タヘ融資をしてこられたの発表がありました。バン

クダ

テシユ

で貧困撲滅

のため、グワミン銀行を設立・運営してきたトマド・ユヌス氏との銀

行が受賞というニュース。

彼の功績についてほさま

ざまなメディアで伝えら

れています。無担保、5人1組への小口の融資と

人1組で特に貧困層の女性たちの自立を支援。

物価が異なるので先進国とは比較ができないこと

ですが、融資は日本円にして30000円ほどからだそうです。これまで6

60万人に総額5億ドルを貸し、98%の回収率。村

にあるものや村民の技術を使って雇用を創出し、

継続的な収入を得る仕組みを「創ろう」とする方

が経済に関する賞

でなく平和

賞ではなく平和賞であります。

そうじす。
失業、貧困があれば犯罪発生率は上昇すると言

われ、世界の多くの地域で悲しいことに実証され

ています。そしてそのよ

うな状況下では安全と共に子供たちの教育の機会も失われます。また寄付はあってよい形で使

てもよしと見せして「これはな

いでしょうか?」と質問し

ました。冒頭この写真(写真1)

をお見せして「これはな

いでしょうか?」と質問し

ました。240人ほどの学生が階段教室に並んで

いましたが、その多くは現役のスポーツ選手。

ある野球部の学生が答えた

のは、「トレーニング用のマシン」。確かにそう

い場合、継続し

た発展は難しい

でしょう。そういう

う意味では雇用

の機会を創出し、

答えは足踏みポンプです。これは1999年に

きないうちの女の子は、

お兄ちゃんが教室で歌を

歌っているのを表で聞いていたら、行くことがで

きない子供は家の手伝い

をしたり外に働きにも行

くというニьюースを聞い

た時、私は心からうれし

さがこみ上げてきました。

来日中もいつも優しい笑顔で思ひやりのある言葉をかけてくれた彼が、今

同じように職場や地域の方々に接している姿は容易に想像できます。

国によって抱える問題

は比較できません。でもこのバンクラテシユの二人のそれぞれの想い、

そしてご自分でできるこ

とを地道に続けてこられ

たその行動から、「やき勇氣をいただいた気がしました。(鶴岡市出身、

JICA筑波国際センタ

ー・クリニック」「一デイ

ネーター)

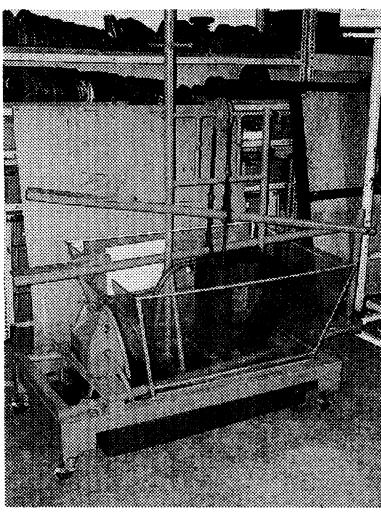


写真1 これは何でしよう?

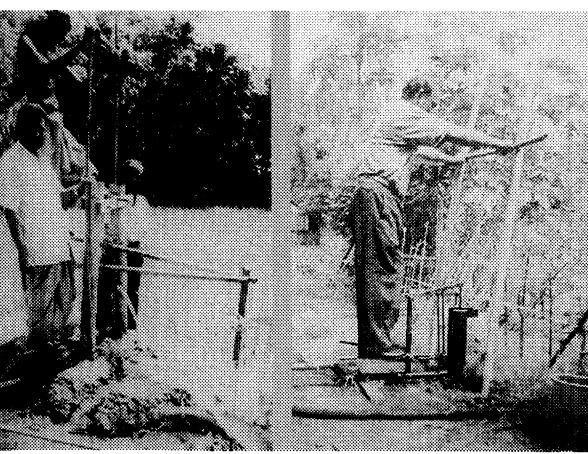


写真2 答えは本文を読んでください。右側は製作したバブルさんです